

久留米三井薬剤師会会報 平成24年4月号

(社) 久留米三井薬剤師会
〒839-085 久留米市高良内町 2807-5
TEL0942-44-0330FAX 0942-44-0333
Mail: kmpa-office@iwa.bbiq.jp
UTL: <http://www.kmpa.or.jp/>

📖 会務報告

- 2月 23日：Bブロック内小グループ勉強会 於 地場産くるめ 21 薬局 29 名出席
24日：小郡市役所教育委員会との打合せ 於 小郡市役所 満安・白木出席
同日：NPO法人くるめ地域支援センター理事会 於 久留米市庁舎 青木出席
28日：Dブロック内小グループ勉強会 於 生涯学習センター 28 薬局 33 名出席
3月 5日：第6回実務実習委員会 於 久留米三井薬剤師会館 中井他 15 名出席
6日：久留米大学医療センター職員打合せ 於 久留米三井薬剤師会館 牟田・平田・瀬戸口出席
8日：筑後地区予備代議員会 於 匠司 中井他 7 名出席
9日：レセプト
10日：一般医薬品販売制度定着状況調査結果についての伝達講習 於 県薬会館 内野・宮崎出席
同日：第13回続公開講座糖尿病 於 聖マリア学院大学
同日：久留米大学医療センター院外処方せん案内及び事務局職員面接 於 久留米三井薬剤師会館 中井・中園・友安出席
12日：久留米大学病院医事課との打合せ 於 久留米大学病院 杉本出席
13日：平成23年度久留米市難病患者地域支援対策推進事業(在宅療養支援計画策定・評価会議) 於 久留米市役所 青木出席
同日：第9回久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会 於 職員会館メルクス 友安出席
15日：平成23年度久留米保健所運営協議会 於 市庁舎 杉本出席
16日：第106回福岡県筑後地区薬剤師研修会 於 ホテルリタレ創世
18日：第12回(社)福岡県薬剤師会ファーマシューティカルケアシンポジウム 於 アクロス福岡
19日：4ブロック別「平成24年度調剤報酬・介護報酬改定説明会」 於 県薬会館 中井他 5 名出席
25日：福岡県薬剤師会第107回通常総会 於 県薬会館
26日：平成24年度調剤報酬改定説明会 於 ホテルリタレ創世
同日：平成24年度第2回地域医療支援病院運営委員会 於 丸みつ 中井出席
27日：第32回臨時総会・理事会 於 久留米三井薬剤師会館

第32回臨時総会報告

平成24年3月27日、平成24年度の予算を決める臨時総会を久留米三井薬剤師会館で開催いたしました。出席者 22 名・委任状 174 枚＝計 196 議席／総会員数 292 名 過半数 147 議席を上回りましたので、臨時総会は成立致しました。

宮崎議長の進行により下記議案に入りました。

- 議案 1 号 平成 24 年度事業予定の件
- 議案 2 号 平成 24 年度会費決定の件
- 議案 3 号 平成 24 年度会計歳入歳出予算決定の件
- 議案 4 号 借入金限度額決定の件

上記議案につきましては、ご承認いただきましたのでご報告申し上げます。尚、上記 1～4 議案については、5 月総会付議事項に掲載いたしますので、そちらをご覧ください。(付議事項は、5 月中旬送付予定です)

2月21日理事会

- ① 会務報告 ②各委員会報告
- ③ 協議事項（平成23年度事業報告・「わかりやすい、みんなの公開講座」後援のお願い・Faxコーナー職員傷害保険料・平成24年度NPO久留米市介護福祉サービス事業者協議会年会費・平成24年度久留米市民オーケストラ講演会法人会費）
- ④ 連絡事項 ⑤新規入会者について ⑥表彰
- ⑦ 予定・その他

新規入会者

A会員 クオール薬局久留米店（久留米市天神町） 開設者：中村 勝

A会員 あじさい薬局（小郡市） 開設者：三浦 公則

表彰おめでとうございます。

平成23年度福岡県薬剤師会会長賞表彰受賞 杉本 奈緒美 先生

これからの予定

レセプト	於	久留米三井薬剤師会	4月 9日(月)13:30まで
第2回筑後地区薬剤師ハイリスク薬研修会	於	ホテルタレ創世	4月18日(水)19:45~
第107回福岡県筑後地区薬剤師研修会	於	ホテルタレ創世	4月20日(金)18:45~
第33回久留米三井薬剤師会通常総会	於	ハynesホテル久留米	5月24日(木)19:00~

生涯学習支援システム「JPALS」が4月1日から本稼働いたしました。このシステムは、日本の薬剤師一人一人が学習した記録の残す場所を、日本薬剤師会が提供するものです。

私たち薬剤師に求められるものは年々多様化してきています。例を挙げますと、「様々な病気の方と対応する可能性がある」「世にあるすべての薬を扱う可能性がある」「在宅での活躍も期待されている」「医薬連携、薬薬連携も叫ばれている」「セルフメディケーションの相談を受ける必要性が高まっている」「公衆衛生的な仕事もたくさんある」などと言いきり尽くすくらいです。それらの要求に答えていくためには、『ジェネラリスト』である続けることが今後の薬剤師には必要だと考えられます。

要するに、これからの薬剤師は様々な領域の知識を習得していく必要があり、日々進展する医療に応えるため、生涯的に学習を続けていかなければならないのではないのでしょうか？

今後は薬剤師のみなさんが「JPALS」を利用して、薬剤師一生分の学習記録を残し、ジェネラリストを目指していかれることを個人的にも願っています。

また、久留米三井薬剤師会の学術研修委員会としても、「JPALS」における地区会員の学習到達度を参考にしながら、研修会等を企画していきたいと考えております。

学術研修委員会 H.S.